

チェック表

花き日持ち品質管理認証の要件：流通部門（輸送）



項目	チェックポイント	基準	評点		備考
			配点	評点	
荷捌場	清掃	清掃されているか	5		
	保管場所	日に当たっていないか	5		
	温度・湿度	温度・湿度は管理されているか	10		10～25℃が望ましい
	取扱	商品は丁寧に扱われているか	10		
	空調の風	冷暖房の風が直接当たっていないか	5		
保管庫	温度・湿度	温度・湿度は管理されているか	10		5～10℃が望ましい
滞留日数	入荷から出荷までの日数	2日以下	10		物日を除く
輸送	温度・湿度	温度・湿度は管理されているか	10		5～10℃が望ましい
	データログによる計測	定期的に計測を行うこと	10		
	ルート	適切なルートか	5		
	安全管理	安全運行基準があるか	10		
	法令順守	従業員教育がなされているか	5		
お客様対応	商品情報	商品情報がお客様に伝わっているか	5		
	クレーム処理	対応も含めて記録しているか	10		
合 計			110		

注) 着色項目は必須事項。

「評点」には、基準を満たす場合には「配点」通り、満たさない場合には「0点」をご記入ください。



花き日持ち品質管理認証の要件の解説:流通部門(輸送)

項目	チェックポイント	解説
荷捌場	清掃	荷捌場を清潔にしないと、病原微生物などの増殖が促進され、それにより灰色かび病などの病害発生などを引き起こす。
	保管場所	直射日光が当たると切り花の温度が上昇し、呼吸が促進される。結果として貯蔵糖質の消費が促進される。また、気孔が開いて蒸散が促進し、水揚げが悪化しやすくなる。
	温度・湿度	日持ちは温度と湿度に大きく影響される。高温では貯蔵糖質を消費して日持ちが短くなる。また低湿度では蒸散が促進され水揚げが悪化し、高湿度では病害の発生を助長する。そのため、温度・湿度を管理することが必要である。
	取扱	商品を丁寧に取り扱いしないと品質が低下するだけでなく、傷害や受粉により日持ちも短縮する。商品は丁寧に扱うことが必要である。
	空調の風	冷暖房の風が直接当たると気孔が開いて蒸散が促進し、水揚げが悪化しやすくなる。また、急激な温度変化によりストレスを受けやすい。そのため、風に当ててはならない。
保管庫	温度・湿度	日持ちは温度と湿度に大きく影響される。高温では貯蔵糖質を消費して日持ちが短くなる。また低湿度では蒸散が促進され水揚げが悪化し、高湿度では病害の発生を助長する。そのため、温度・湿度を管理することが必要である。
滞留日数	入荷から出荷までの日数	日持ちは限られており、滞留日数が増加すると消費者段階での日持ちが短縮する。そのため、出荷までの滞留時間は2日以内にしなければならない。
輸送	温度・湿度	日持ちは温度と湿度に大きく影響される。高温では貯蔵糖質を消費して日持ちが短くなる。また低湿度では蒸散が促進され水揚げが悪化し、高湿度では病害の発生を助長する。そのため、温度・湿度を管理することが必要である。
	データログによる計測	切り花の輸送環境を把握し、クレーム等に適切に対応するためには、輸送中の温度等を定期的に計測することが必要である。
	ルート	切り花を安全に運搬するとともに輸送期間を短縮するためには、適切なルートをとることが必要である。
	安全管理	切り花を安全に運搬するためには、安全運行基準が策定されていることが必要である。
	法令順守	企業経営の安定・発展を図るためには、従業員教育が必要である。
お客様対応	商品情報	顧客が安心して切り花を受け取るためには、商品情報を提供することが必要である。
	クレーム処理	日持ちのよい切り花を安定的に販売するにあたり、クレームに対する原因を解決するとともに、今後繰り返されることを避けるため、記録しておくことが必要である。